

宮崎県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	100点
問題構成	大問4題。地理・歴史・公民の分野ごとに大問各1題と3分野融合問題が一題。 地理は、世界地理分野で13点、日本地理で16点。合計29点。 歴史は、原始から近世分野で14点、近代から現代分野で15点。合計29点。 公民は、政治分野から14点、経済分野から14点。合計28点。三分野融合問題から14点分出题された。 論述問題が5問と大幅に減少し、配点も20点となった。過去五年で最少の配点である。		

	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)	平成31年度(2019)
問題量 (A4で)	14ページ分	14ページ分	14ページ分	14ページ分	14ページ分
小問数	36問	33問	42問	42問	42問
論述問題の数	5問	9問	13問	13問	12問
論述問題配点	20点	30点	51点	52点	57点
合格者平均点	62.0点	59.5点	52.7点	53.3点	55.7点

【出題の傾向と対策】


- ① 論述問題は三分野とも穴埋め形式のものが多く出題され、複数の資料を読み取り、空欄に入る内容を考える問題が多い。資料の内容をまとめて、答えを書く練習をする。近年では、当てはまる内容を選択肢から選ぶ問題が増加している。

R2 ①

2 (4) 拓郎さんは、道の駅Dが促進する地産地消の取り組みを、多くの道の駅が行っていることを知り、その取り組みについて調べていく中で、資料5、6を見つけ、下のように発表原稿にまとめました。資料5、6をもとに、**ウ**、**エ**に入る適切な内容を書きなさい。


資料5 海外からの食料輸入率

日本で消費される食料のうち、約6割は輸入に頼っている。農産物の輸入に対し、国内の農家は、食の安全に対応して競争力を維持する取り組みなどを行っている。



(「資源エネルギー庁資料」他より作成)

資料6 主な国のフードマイレージ



※日本は2010年、他の国は2001年のデータ

億トン・km

フードマイレージは、輸入する食料の重量に、輸送した距離をかけた値をいう。この値が大きいと、輸送時の二酸化炭素の排出量が多くなる。

(「農林水産省資料」他より作成)


拓郎さんの発表原稿 (一部)

地産地消への取り組みは、資料5から、日本の **ウ** などの割合を高めることにつながると考えられます。また、資料6から、輸送時の二酸化炭素の排出量を減らすことにもつながり、グローバルな課題である **エ** にもなることが分かりました。

①資料の読み取りを行い、空欄にあてはまる内容を考える。空欄の前後の文章をよく読み適切な内容を書けるようにしよう。

② 歴史分野では、日本の歴史と世界の動きに関する問題が例年出題されている。

R4 ② 1 (4) 裕也さんは、資料3、4を見つけ、江戸時代の外国船への対応について、下のよう
 にまとめました。資料4をもとに、に入る適切な内容を、「日本」という語を使って書きなさい。

<p>資料3 外国船への対応(一部要約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1825年の方針 どこの港でも、外国船が入港するのを見た なら、有無を言わず、いちずに打ち払え。 ○ 1842年の方針 外国船が難破して漂流し、薪や水、食料を 求めてきたとき、事情を考えず、いちずに打 ち払っては失礼なので、よく様子を見て必要 な品を与え、帰るように言い聞かせよ。 	<p>資料4 アヘン戦争(1840～42年)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>兵器の威力で勝るイギリスは、清を降 伏させ、不平等条約を結んだ。</p>
---	---

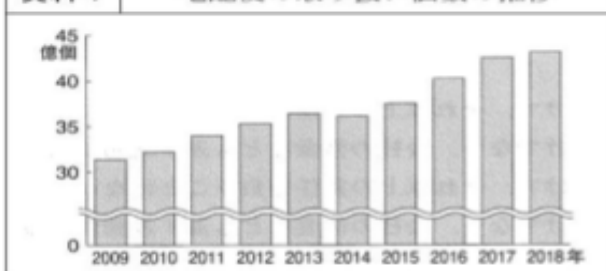
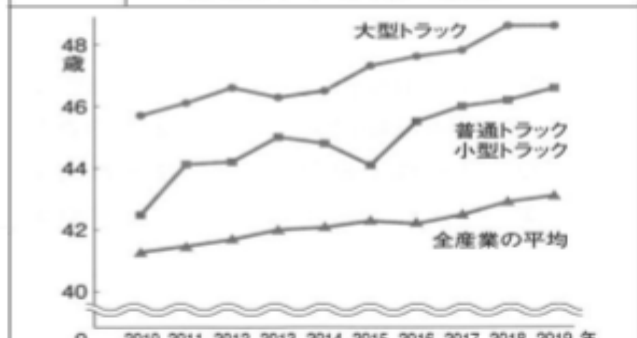
②資料から外国船の接近に対する幕府の対応の変化を読み取る。

裕也さんのまとめ(一部)

資料3、4から、幕府は、1825年の方針では外国船に対して強い姿勢を見せていたが、アヘン戦争で ことをおそれて、外国船への対応を転換したと考えられる。

③ 公民分野では時事的な内容や身近なテーマ、社会的な課題からの出題がよく見られる。

R4 ③ 1 (4) 伸子さんは、資料1のスライドDに関して調べていく中で、ドローンの飛行ルールについての規制緩和が進み、宅配便などを運ぶ実験が行われていることを知り、「なぜドローンによる物流の実用化に向けた取り組みがみられるのだろうか」という疑問をもちました。そこで、資料4、5を使って、下のよう
 に仮説を立てました。資料4、5を関連づけて、に入る適切な内容を書きなさい。

<p>資料4 宅配便の取り扱い個数の推移</p> 	<p>資料5 トラックドライバーと全産業の労働者の平均年齢の推移</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">(資料4、5「国土交通省資料」より作成)</p>
---	---

③規制緩和について、現代日本の特色と結び付けて、資料と関連付けながら考える。

伸子さんの仮説

ドローンによる物流の実用化に向けた取り組みがみられるのは、資料4、5から、 ことが予測されるため、規制緩和によって新たなサービスを生み出してトラック輸送の一部を補おうとしているからだろう。

解答

- R2 1 2(4)ウ:(例)食料自給率 エ:(例)地球温暖化の対策
 R4 2 1(4)(例)清に勝利したイギリスが、日本に武力で開国を迫る
 R4 3 1(4)(例)増加する宅配便の需要に対し、トラックドライバーの高齢化が進み労働力が不足する